



# 健康一口メモ

仙台市医師会  
広報委員  
福壽 岳雄

最近、湿潤治療、シラップ療法という言葉を聞いたことはあるでしょうか？ケガや火傷の治療法で、「早く治る」「きれいに治る」「傷跡が残らない」「痛くない」などと言われている。今回はこちらを少しご紹介したいと思います。

ケガや火傷の治療ですが、従来はまずよく洗浄をして消毒し、ガーゼで覆って触れないようにしてカサブタができたなら治るのを待つ…という方が多かったのではないのでしょうか。これに対して湿潤治療は、創をよく洗浄したら十分な量の軟膏や特殊な保護材で覆い、特殊な吸水スポンジやラップで覆って、創面を乾かさずに治癒を待つ…というものです。でも、乾かない創面からはジュークジュークした浸出液が見られて、一見化膿しているように見えることもあります。

湿潤治療が勧められるのは、傷ついた皮膚の再生を促すために、創面を細胞が再生しやすい環境に保つことが必要と考えられるため、実際に口の中の傷が早く治るように、その効果はみられるようです。

ただし、注意しなければいけないこ

## 湿潤治療

とがあります。湿潤治療は皮膚表面がはがれて、皮下がむき出しになった時の処置法であって、カッターで切ってしまったような創で縫合後や絆創膏で皮膚を寄せているときには意味がない方法です。また、深部に細菌が入り込んで、本当に化膿している感染した創ではかえって創を深くしたり、悪化させることもあります。また長時間にわたって保護材を貼りっぱなしにすることで、周囲の健全な皮膚がかぶれることもあります。ラップは、広い面を覆うには手ごろな安い素材ですが、かぶれることもあり、決していつでもラップが一番良いわけではありません。創の治り方も、創の差、個人差があり必ず「きれいに治る」わけでもありません。

大切な体を傷つけてしまったら、まず止血して、できれば流水で汚れを落として、なるべく早く最善の治療法について、外科の医師に相談されることをお勧めいたします。

／青葉区八幡



# 宮城県自衛隊退職者雇用協議会をご存知ですか？

当協会は自衛隊退職者の雇用促進を図り、有能な労働力を確保し、県内産業の興隆に寄与することを目的とする協議会です。

当協会に入会いただけますと退職自衛官の雇用に関するご案内をいたします。



## 国防を支えた力を 地域・企業を支える 活力にしませんか？



問い合わせ先

仙台商工会議所(事務局)  
自衛隊宮城地方協力本部援護課  
TEL:022-295-2613

●自衛隊宮城地方協力本部ホームページ  
<http://www.mod.go.jp/pco/miyagi/>

宮城地本 検索